

2.21

# 止めよう！ 辺野古埋め立て 全国同時アクション 東海ブロック集会

本集会は東京での国会包囲網首都圏アクションをはじめ、札幌、仙台、富山、名古屋、大阪、岡山、高知、福岡と全国9ブロックで同時開催するもので、オール沖縄の声に呼応して全国で立ち上がることをめざします。



■と き： **2月21日** 日 14:00～

■ところ： **若宮大通公園** 地下鉄名城線「矢場町」駅下車  
④番出口徒歩5分

■主催：戦争をさせない1000人委員会・東海ブロック 名古屋市熱田区金山町1-14-18 TEL:052-678-3111 (担当：浅井)

# 沖縄・辺野古に基地はいらない!! 沖縄と本土の力をひとつに 全国9ブロックで同時アクション!!



政府は、権力を乱用して、沖縄県民の総意である「建設反対」の声を踏みにじり、辺野古新基地建設へと突き進んでいます。

翁長沖縄県知事は、昨年10月13日に辺野古の埋め立て承認を取り消しました。しかし、政府は、防衛省が「私人」に成りすまして、行政不服審査法（個人の権利を守る法律）を悪用して、知事の取り消しを執行停止にしました。法治国家にあるまじき脱法行為です。

また、政府は知事の承認取り消しを無効にして、知事の代わりに政府が埋め立て承認を行うため、沖縄県を提訴しました。県は答弁書で、「国の訴えは法を乱用してまで沖縄の民意を押さえつけようとする『職権の濫用』だ」と、厳しく批判しています。

辺野古では、本土から警視庁機動隊100人を派遣して、反対する県民を暴力で弾圧しています。沖縄県民はこのような政府の横暴に、自らの尊厳と誇りをかけて、絶対に屈しない、沖縄の未来は自らが開くと決意し、闘い続けています。昨年の12月14日には、政党、市民団体、労組、平和団体、企業などが結集して、辺野古新基地を造らせない「オール沖縄会議」を結成し、さらなる闘いの強化に向けて立ち上がっています。

翁長沖縄県知事は裁判で、「日本には本当に地方自治や民主主義が存在するのでしょうか。国民の皆さますべてに問かけたいと思います」と訴えました。沖縄からまさに日本の民主主義が問われています。

今こそ、本土で沖縄県民の不屈の闘いに呼応した大きな運動が求められています。そうした中、首都圏では来る2月21日に国会法包囲網の取り組みが展開されます。さらに札幌、仙台、富山、大阪、岡山、高知、福岡、全国8か所での辺野古新基地建設反対の声を同時に上げる取り組みが同時に計画されています。そして、名古屋の地においてもオール沖縄の声に呼応して愛知、三重、岐阜、静岡の戦争をさせない1000人委員会東海ブロックが全国の仲間とともに立ち上がります。多くの皆さんの参加を訴えます。

**シンボルカラーは「青」。辺野古の海の「青」で集会を埋め尽くそう!**